



かけはし

Vol.109

2016年度

No.2

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



「アジサイ」

◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な説明と納得による医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ向上心と学習により、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*熊本災害派遣チームへ参加して……………	1～2	*外来診察表……………	6
*熊本地震 災害ボランティア活動へ参加して……	2	*医療機能情報提供について……………	6
*整形外科紹介……………	3	*7月の出水郡医師会	
*健康フェスタ開催のお知らせ……………	3	日曜祭日当番医……………	7
*リハビリの窓……………	4	*病院ボランティア募集……………	7
*食中毒に注意……………	5	*お知らせ……………	7
*患者さんの権利と責務……………	5	*編集後記……………	7

「熊本災害派遣チームへ参加して」



鹿児島県医師会から派遣され、JMATとして宇土市に到着したのは発災から1週間後の平成28年4月24日でした。ライフラインは復旧されており、エコノミークラス症候群や持病の悪化・感染兆候は見られないか、精神面などへの援助が主な役割でした。被災者の多くは自宅へ帰れる状況でしたが、夜間地震が来るのが怖いなどが、夜間地震が来るのが怖いなどが、精神的な理由での避難でした。「血圧を測ってみませんか?」「夜間眠れていますか?」と被災者に声を掛け、手をさする、背中に手を当てるなどのタッチングで慰めや励ましになればと努めてい

ましたが、「みんな同じだけん、頑張らんば」と言われる方も、ふと見せる横顔に疲労感がにじみ出ていて、避難所生活のストレスの強さを感じ取ることが出来ました。

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震央とする、地震（前震）が発生し、熊本県益城町で震度7九州地方では初の観測でした。その28時間後の4月16日1時25分には本震が発生し、熊本県西原村と益城町で震度7を観測されました。この時のマグニチュード7.3は1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と同規模の大地震で、内陸型（活断層型）地震でマグニチュード6.5以上の地震の後にさらに大きな地震が発生するの観測が日本において開始された1885年（明治18年）以降で初めてのケースであり、また一連の地震活動において震度7が2回観測されるのも初めてのことであります。

宇土市は、熊本県中央部に位置し、JMATが派遣される中では最も鹿児島県に近い地域で、JMAT、リハビリ、保健師、薬

剤師、栄養管理、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、災害派遣ナースなどにより構成されています。宇土市役所庁舎は使用できないため緊急避難的に市民体育館でその業務を行っており、その一角で救護所開設し夜間の救護に対応しており、派遣初日は体育館で過ごすこととなりました。ガタガタと縦揺れに続き横揺れが数秒、地震に慣れな私たちにとつて大きな揺れと感しても、「震度3くらいだね」周囲の人は何事も無かったかのように業務を遂行している姿を見て、地震が起こったことよりも驚きました。また朝と昼に行うミーティングで感染症の情報が伝達されると、全てのチームで被災者に感染兆候が無い、感染拡大防衛のための手洗い、うがい、その周辺の清掃など行われているかなど徹底した指導とその後施行されているかどうかチェックを繰り返して行っていました。

感染対策は災害時でも避難所や施設内で感染症を発生させない、拡大させないことが重要である事を再認識出来ました。

また市中病院や診療所の診療が開始されると、避難所で慢性疾患

の悪化や身体的に異常などがあれば、かかりつけ医の診療状況を確認しそちらへの受診を促し、通常の宇土医師会の診療形態へ戻すような形をとり、JMATなどの活動終了後の混乱が起きないように配慮していました。

避難所にいる子供たちは、家族が仕事などに出かけるため、地震が起こった時に自宅では心配と学校などの避難所に残り、肩を寄せ合ってゲームをしたり、話をしている姿を見ましたが、本来の元氣よく走り回るようなことはありませんでした。



理由の1つは、避難者からうるさいと注意を受けた事、そして大人から離れる事への恐怖心などだと考えられました。ある小学6年生の女の子は、何度か訪問するうちに背中に飛び付いたり、まわりつくなど幼子のみせるような仕草が見られました。学校は本来学ぶ場であり、子供が早く日常の生活を取り戻せるように、避難所としての役目を終えて、避難所の閉鎖へ向け取り組んでいました。また被災者として援助を受けていく事で、その人の自主性がなくなり、精神的にも依存心が高くなるため、開設するだけでなく、早く日常を取り戻すことが大切であると感じました。

これまで災害は、どこか遠いところで起こっていて他人事を感じる場所もありましたが、熊本地震は阿久根でもその揺れを感じ、より災害が身近に感じることになりました。もし今地震が起こったらとシミュレーションを繰り返して行い準備していく必要性を強く感じました。全ての準備を一度に整えていく事は困難ですが、出来ることから始めて行きたいと思いません。

(文責：竹中)

熊本地震

〈災害ボランティア活動へ参加して〉



平成28年5月16日に熊本市のボランティアに、新入職員20名(第二病院2名)を含む24名が参加した。病院駐車場を朝6時に出発、津奈木インターから高速に乗り御船インターで下車。熊本市城南福祉センター到着。オリエンテーションの後、4グループに別れ個人宅にて活動を行った。発生から1ヶ月が経過しているため本来は、家屋の外であったが、生憎の雨にてボランティアセンターが室内での活動を探してきてくれた。食器棚や洋服ダンスが倒れているため

元に戻したり、散乱している本、CD・カセットテープ・ぬいぐるみなどを家主さんと話を行いながら片付けた。「1ヶ月以上たっているけど、まだ余震もあって：何から手を付けていいかわからずそのままだった：」「高齢者の独り暮らしだから、誰か来てくれないとどうしようもなく：」「割れたガラス片もそのまま、床の間の土壁も小さなビニール袋に入れられていた。「たくさん入れても回収場所まで持ち運べないから：」とつぶやかれた。土壁など見たこともない世代。ほうきで掃くと土が舞うその壊れた土壁の重たさに驚いた。狭い空間での作業、土壁の重さで疲労も増した。2件目の作業が終わるころには、背中・腰・両手が痛くなり力が入りにくくなった。集めた土壁を回収場所まで運ぶ人たちは、雨具を着ていたがいつのまにか髪の毛も衣類もぬれていた。16時10分終了し、19時5分病院駐車場へ着いた。雨も上がり、日が沈む前で肌寒く感じた。

参加した新入職員からは、「最初は、何が出来るのだろうかと不安だった」「現状を見ると無くしたものが大きすぎて、何も手につかないと言われるのが理解出来た。」「少しでも、手伝いができて良かった。」
初めてのボランティア活動で、緊張と不安が一杯であったが、被害にあった方と接し片付けを手伝ったことで最初の不安は消え「機会があればまた参加してみたい」との意見も聞かれた。1日ではあったが、災害時におけるボランティア活動の実際を体験したことで、ボランティア精神が芽生えたのではないかと思っている。

(文責：鳥越)



整形外科紹介

(整形外科とは)

人が生き生きとした生活を送るためには、不自由なく自分の体を動かすことが必要です。

体を動かすために必要な部分を運動器といい、骨、関節、靭帯、腱、神経、筋肉などが含まれます。整形外科はこれらの運動器の異常（病気・怪我など）を診察し治療を行います。

体の痛み、しびれ、不調などお困りの際には整形外科を受診して下さい。

正確な診断、適切な治療についてお役に立てると思います。

(外来診療)

当科外来は総勢4名で診療に従事しています。毎週月、水、金曜日の午前中に外来診療枠を設けており、隔週金曜日には鹿児島大学の脊椎外科専門医による脊椎外科専門外来を開設しています。

昨年度の外来初診受診者数は、初診1089人、再診9733人、総数10822人でした。

地域へより高度な医療を提供すべく、専門性を発揮した診療を心がけています。



(手術治療)

基本的に毎週火・木曜の全日と金曜午後を手術日としています。

脊椎外科手術は専門医の診療日に合わせて、金曜の午前または午後を中心に行っています。手術症例増加により実際にはほぼ毎日、手

術を行っているのが現状で、緊急手術は毎日24時間体制で行えるようにしています。

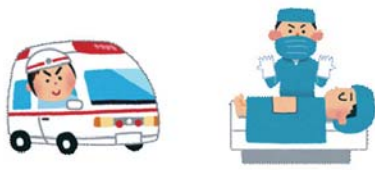
昨年度の手術件数は605件と年々増加傾向に有り、この地域で極力治療を完結できるようにあらゆる手術を行っています。主に骨折などの外傷、脊椎疾患（頸椎、胸椎、腰椎）、関節疾患（人工関節置換術、関節鏡手術）末梢神経手術、スポーツ外傷に対する再建手術と多岐にわたっています。また当院では低侵襲手術に積極的に取り組んでおり、内視鏡手術（脊椎、肩・手・肘・膝・足関節、手根管症候群）、顕微鏡手術（脊椎、神経・血管再建）を行っています。

また大腿骨近位部骨折など高齢者外傷症例に対し、早期ADL回復を目指し当日手術など早期手術に努め、術前待機日数短縮に取り組んでいます。

今後も地域住民の方に都市部にも遜色ない高度かつ先進的な医療を提供できるよう努力していきます。

(文責：恒吉)

健康フェスタ 開催のお知らせ



日時	8月21日(日) 10:00~14:00
テーマ	「つなげよう、地域の絆 未来の健康」
場所	出水郡医師会広域医療センター
催し物	無料検診・視力測定等、ミニ講座(消防隊のお話、がん)、阿久根中学校ミニコンサート、ゆるキャラ握手会、看護師体験、手術室見学、キッズコーナー、屋台、チャリティーバザー、健康クイズ、ミニ喫茶などなど

皆さまのご参加をお待ちしております。



食中毒予防のポイント

気温、湿度の上昇とともに、食中毒が多発する時期です。
食中毒菌を「**付けない、増やさない、やっつける**」を実践して、
家庭でも食中毒を予防しましょう!

(1) 菌をつけない(手洗いなど)

- 帰宅時、調理前、食事前、用便後は手洗いを十分にしましょう。
- 調理中、生ものに触れた後も必ず手洗いをしましょう。
- 生肉・魚調理後の包丁、まな板などは十分に洗浄・消毒しましょう。



(2) 増やさない、やっつける(食品の購入・保存・調理・食事)

- 冷凍食品、生鮮食品購入後は出来るだけ早く帰宅し、すぐに冷凍庫・冷蔵庫に保存する。
- 食品は十分に加熱して食べましょう。
- 食肉を生で食べる事は控えましょう。
- 調理後は2時間以内を目安として早めに食べましょう。

☆「**つけない**」ための基本は**まず手洗い**です。

- 調理を始める前
- 生の肉や魚、卵などを取り扱う前後
- 調理の途中で、トイレに行ったり、鼻をかんだりした後
- おむつを交換したり、動物に触れたりした後
- 食卓につく前
- 残った食品を扱う前



安心安全な食事でおしくいただきます。

患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来たさないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

外来診察表

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科 (一般内科)	立石 繁宜	田端 宏之	大牟禮 健太	検査日	立石 繁宜	予約検査	
	吉野 聡史	内門 義博	内門 義博		吉野 聡史		
	田端 宏之				大牟禮 健太		
	(吉野・田端)	(田端・内門)	(大牟禮・内門)		【第1,3,5】(消化器内科医) 【第2,4】(堀之内)		(吉野・大牟禮)
心臓血管外科		【第2】(熊本中央病院・ 心臓血管外科医)					
神経内科	児玉 大介						
血液内科				新居 亮彦			
眼科	平瀬 純伸	平瀬 純伸	平瀬 純伸	手術日	平瀬 純伸	予約検査	
脳神経外科	手術日	栗 隆志	栗 隆志	栗 隆志	検査日	予約検査	
整形外科	恒吉 康弘	手術日	恒吉 康弘	手術日	恒吉 康弘	予約検査	
	藤元 祐介		藤元 祐介		内山田 桜		
	内山田 桜		徳本 寛人		鹿児島大学・脊髄専門医		
泌尿器科	井口 智生	手術日	井口 智生	井口 智生	井口 智生	予約検査	
放射線科	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		堀之内 信		
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)		診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)			診察日 (鹿児島大学・耳鼻咽喉科医)		
消化器病 センター	消化器内科	紙屋 康之		紙屋 康之 川畑 活人		川畑 活人	予約検査
	消化器外科 (外科)	手術日	田辺 元 今村 博	手術日	今村 博 加藤 健司	上木原 貴仁 手術日	予約検査
	化学療法外来	(今村 博)	加藤 健司	(今村 博)	山崎 洋一	消化器外科医 (15:00~17:00)	
	緩和ケア外来		消化器外科医 (16:00~17:00)		消化器外科医 (15:00~17:00)		
	セカンドオピニオン外来		今村/加藤 (16:00~16:30)				
	胃カメラ	川畑 活人	紙屋/川畑	熊本大学・ 消化器内科医	紙屋/川畑	紙屋 康之	予約検査 (熊本大学・消化器内科医)
	大腸カメラ	川畑 活人	紙屋/川畑	熊本大学・ 消化器内科医		紙屋 康之	
	肝臓内科	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介					
	乳腺外来	吉中 平次 第4火曜日診察(受付 9:00~16:00) 要予約/要紹介					

※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

※胃カメラ・大腸カメラについては、熊本震災の影響で変更があります。

医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

7月の 出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月 日	出 水 市	阿 久 根 市	長 島 町
7月 3日(日)	おかだクリニック TEL 63-7011 せき耳鼻咽喉科クリニック TEL 64-1187	内山病院 TEL 73-1551	飯尾医院 TEL 88-5040
10日(日)	林泌尿器科クリニック TEL 64-8800 さくら通りクリニック TEL 62-2311	鶴見医院 TEL 73-0553 黒木胃腸科外科医院 TEL 75-0200	鷹巣診療所 TEL 86-0054
17日(日)	友愛クリニック TEL 64-2101 わかずぎ皮膚科クリニック TEL 64-1313	しみずこども医院 TEL 68-0633	長島クリニック TEL 88-6405
18日(月)	福元医院 TEL 67-3200 荘記念病院 TEL 82-3113	いまむらクリニック TEL 73-1700	平尾診療所 TEL 88-2595
24日(日)	整形外科はばぐちクリニック TEL 64-8260 しもそのクリニック TEL 63-8300	門松医院 TEL 64-6100	飯尾医院 TEL 88-5040
31日(日)	出水病院 TEL 62-0419 こどもクリニック永松 TEL 64-1500	山田クリニック TEL 72-0420	鷹巣診療所 TEL 86-0054

病院ボランティア募集

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

- 1 身の回りのお世話
花を生ける・水を替える、着湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て
- 2 話し相手
筆談、手話、本を読む等
- 3 その他
院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター 総務課まで
TEL 73-13331
(内線 371-374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。



お知らせ 意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。

編集後記

梅雨に入り、湿気が多い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。毎年この季節になると、雨の日の過ごし方に頭を悩ませる方も多いと思います。足取りの重くなる季節ですが、適度な運動、食事を心掛け、夏に向けて準備したいものです。

(尻無濱)